

2024年 春夏公開講座 シラバス

1006 本人発信の可能性～認知症当事者同士の対話をもとに～

科目分野	3. 人間・社会 (歴史・文学・政治・経済等)
昼夜	昼
講義／実習	演習
講座開始日	5/9
講座最終日	5/23
講座実施回数	3回
講座の形態 (対面、オンラインなどの別)	1.対面
曜日	木
時間数	90分
時間帯	10:00 ~ 11:30
担当教員	鈴木 尚子・岡 里美
担当教員について (所属・職名・自己PR等)	鈴木 尚子 (人と地域共創センター准教授、専門：社会教育、生涯学習)、岡 里美 (徳島市国際交流協会会員)
講座の目的	現在、国の認知症政策における優先事項の一つとして、認知症当事者による本人発信の重要性が謳われています。この講座は、認知症の本人と介護者の方を対象として、参加者同士で本人が発信するために必要なことを当事者目線で考えたいと思います。認知症と診断された方であっても、発言が可能な方もしくは筆談で意思疎通が可能な方は、どうか遠慮されずにご参加ください (但し、お一人での移動や90分間教室での講座参加による意思疎通が難しい方は、介護者の方にご相談の上、ご検討ください)。
講座の概要	当センターには、以前から認知症と診断されている方、認知症が疑われる方も一定数受講されています。講師は認知症の方の学び続けたい意欲に応えるため、教育機関としてどう対応すべきかを過去約10年間にわたり、考えてきました。それを考えていく上での一つの手段として、当事者の意見に耳を傾けることはとても大切だと考えています。認知症の方であっても、できる限り社会に参加されようとする意欲を応援しながら、ゆっくりと、ゆったりと話し合いを進めていきたいと思っています。
キーワード	認知症、本人発信、当事者目線、課題解決
到達目標	認知症の人の本人発信とはどうあるべきか、当事者目線で話し合い、可能性を考える。
講座の計画	第1回は、自己紹介と生活上の悩みや意見交換をざっくばらんにを行います。第2回は、第1回目の内容をもとに、本人発信を促すための方法を考えます。
テキスト	なし
修了証書発行基準	開講された全日程の7割以上の出席
受講者へのメッセージ	認知症の方であっても、学習したいという気持ちは認知症でない方と同じように持っています。その意欲を可能な限り尊重・応援しながら、ゆっくり、ゆったりと講座を進めていきます。参加において気になることがある方は、事前に遠慮なくお問い合わせください。講師が対応させていただきます。
備考	本講座は認知症と診断された方と介護者の方を対象としています。